

北海道・北東北の縄文遺跡群

(読み方) ほっかいどう・きたとうほくのじょうもんいせきぐん

(英語) Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan

※「Jomon」はイタリックにしない。

【説明文：96字】

北海道・北東北の縄文遺跡群は、1万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17の遺跡で構成されています。

【説明文：150字】

北海道・北東北の縄文遺跡群は、森や海、川などの自然の恵みを持続的に利用しながら、1万年以上にわたって採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する縄文時代の集落や墓地、祭祀・儀礼の場である環状列石など、17の遺跡から構成されています。

【説明文：247字】

北海道・北東北の縄文遺跡群は、1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17の遺跡で構成されています。

北海道・北東北では、ブナ・クリなどの森林資源や暖流・寒流が交わる海域が育んだ水産資源を背景に、今から約15,000年前に定住がはじまりました。その後、環境変化にも対応しながら、採集・漁労・狩猟による生活が長期間継続しました。この間、土偶や環状列石などにみられるように、精緻で複雑な精神文化も育まれました。

【説明文：379字】

北海道・北東北の縄文遺跡群は、1万年以上にわたり採集・漁労・狩猟により定住した人々の生活と精神文化を伝える文化遺産です。北海道・青森県・岩手県・秋田県に所在する17の遺跡で構成されています。

北海道・北東北では、ブナを中心とする落葉広葉樹の森林が広がり、海洋では暖流と寒流が交わり豊かな漁場が生まれました。このような自然環境のもと、人々は食料を安定的に得ることができ、今から約15,000年前に土器を使用し、定住を開始しました。その後、1万年以上の長きにわたって農耕に移行することなく、気候の温暖化や寒冷化などの環境変化にも巧みに適応しながら、採集・漁労・狩猟による定住を継続しました。この間、土偶や環状列石、周堤墓などにみられるように、精緻で複雑な精神文化を育みました。

北海道・北東北の縄文遺跡群は、農耕文化以前の人類の生活や精神文化を伝える貴重な遺産です。